

各位

上場会社名 滝沢ハム株式会社
 代表者 代表取締役社長 瀧澤 太郎
 (コード番号 2293)
 問合せ先責任者 常務取締役管理本部長 山口 輝
 (TEL 0282-23-5640)

業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ2018年11月6日に公表した業績予想および2018年5月14日に公表した配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2019年3月期通期連結業績予想数値の修正(2018年4月1日～2019年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	34,200	340	330	190	92.52
今回修正予想(B)	31,922	121	157	92	44.92
増減額(B-A)	△2,278	△219	△173	△98	
増減率(%)	△6.7	△64.4	△52.4	△51.6	
(ご参考)前期実績 (2018年3月期)	34,245	444	479	307	149.63

2019年3月期通期個別業績予想数値の修正(2018年4月1日～2019年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	31,800	300	170	82.78
今回修正予想(B)	29,475	136	80	39.37
増減額(B-A)	△2,325	△164	△90	
増減率(%)	△7.3	△54.7	△52.9	
(ご参考)前期実績 (2018年3月期)	31,736	442	285	139.06

修正の理由

1. 連結業績予想の修正理由

売上高については、食肉加工品はローストビーフやハンバーグ等の売上は販売の強化を図り増加しましたが、ハム・ソーセージは企業間の販売競争激化と消費低迷により減少しました。また、食肉についても、国産豚肉および輸入豚肉は銘柄豚の販売強化に努めましたが、販売競争の激化により売上高は減少しました。その結果、売上高は前回予想を下回る見込みとなりました。

損益面については、在庫の削減や商品の統廃合等を推進し、生産コストの削減に努めましたが、売上高の減少要因により前回公表数字を下回る見込みとなりました。この結果、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益とも2018年11月6日に公表しました業績予想を下回る見込みとなりましたので、業績予想を修正いたします。

2. 個別業績予想の修正理由

個別業績予想の修正理由につきましては、連結業績予想の修正理由とほぼ同じ要因によるものです。

(注) 上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によってこれらの予想数値と異なる可能性があります。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (2018年5月14日発表)	—	0.00	—	25.00	25.00
今回修正予想	—	0.00	—	15.00	15.00
当期実績	—	0.00	—		
前期実績 (2018年3月期)	—	0.00	—	25.00	25.00

修正の理由

2019年3月期の期末配当金につきましては、当初1株につき25円00銭としておりましたが、通期の業績予想が大幅に未達となったことから、誠に遺憾ではございますが、1株につき15円00銭に修正させていただきたいと存じます。

以 上